

はやぶさ 第85号 2014年06月13日(金)

=====

発行責任者： 一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

理事長 平本 靖夫

（Captain 平本：（株）I&C・HosBiz センター）

編集責任者： 理事 石川 昌平

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

一般社団法人 経営特訓士協会

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

=====

メルマガ「はやぶさ」 第85回目の発信です、8回シリーズの第1回（プロローグ）です。

著者：（株）I&C・HosBizセンター
Captain 平本

タイトル：グランドデザインにならいて

理念経営＝人本位（ひとほんい）経営 をすすめる

***** 本題 *****

第1回 *はじめに

企業はなんのために存在し、吾らはなんのために生まれて来たのか？
それが存在理念でもあります。理念経営ではこの存在理念を、最上位
に位置づけていますが、それはどこからくるのでしょうか？

私は、グランドデザイナー（大創造根源神様）のグランドデザインから来ると観じています。

このグランドデザインに調和しない生き方は、淘汰される時代を迎えているのです。

個人も、企業も、国家も存在することは出来ないのがアセンションなのです。

存在理念 → 経営理念 → 行動理念（社是・社訓）→ 経営方針

- ◆「理念経営のすすめ方・中央経済社」を書いたのは、1993年でバブルは破綻したが、まだその余熱が残っていて、中小企業もまだ壊滅的なことには至らないで、いつか昔に戻るだろうとの漠然としたイメージを持っている時でした。しかし、私の直感には断絶の時代がすぎ、ポールシフト的変革の助走が始まり、天変地異・政治・経済・自然環境・精神活動等あらゆる変革が来ると、観じていました。

特に、拝金主義的資本主義・グローバルスタンダードは、人々を幸せにしないと認識していました。中小企業が80%を占める日本において、切り捨てられ格差が拡大して行くなかで、第二の農業のようになって自立心を喪失し、後継者不足となり持続が困難となる事態となってしまう。何とかしなければと念じていました。そうした心境のなかで、書いた本でした。

- ◆今も、理念経営を普及しなければいけないとの使命感はより強く念じており、中小企業経営に役立つメソッドを開発して、実用化しております。そして、理念経営という言葉が、かなりあちらこちらで知れるようになって来たと観じており、勇気づけられています。それから、21年たち、私の予観の通りに、いやもっと激動的に変革は進行しています。政治的には、アラブの春に始まる解放運動やアジアの民主化運動の高まり、経済的にはアメリカの国力の著しい衰退とドルの機能低下。ユーロの経済的破綻の出口は見えません。中国も大きな矛盾を抱えて、このままではすまないであります。ベトナムと中国の覇権争い。ウクライナ問題。タイの軍政等不安定さが広がっています。

我が日本の財政赤字の規模は世界の常識を超えており、リスクは高まって

きています。そのツケは子々孫々に重くのしかかりそうです。

食料危機。水資源の枯渇。地球環境破壊の加速等が進んでいますが、11・03・11の東日本大震災とその後の放射線量や内部被曝問題、原発を含むエネルギーの課題等、今までの社会規範、秩序、特に官僚主義は制度疲労を起こしており崩壊するのは確実と観じていますし、変えない限り国民は幸せにならないとおもいます。

官僚制は2000年以上続いているのですから、そう簡単にはスイッチできないでしょうが、グランドデザイナーは官僚制度を否定されているのですから、いずれその時が来るでしょう。

◆国民の民意は、国家の権威には反発しながらも行政依存症となり、

1) 自助努力、2) 自己責任、3) 自治（地域・町内会レベル）の意識は希薄になり、社会コストを増す要因になっています。

しかし、この点も見直しの機運が高まってきているのは嬉しいかぎりです。このように、私達の生活の在り方、豊かさとは真にどんな生活なのか、このかけがえのない地球環境を自然に回帰させながら、人間生活とどのように調和して未来の子供達に伝えて行くのか？真剣に考え行動する時を迎えていると私は強く感じています。

大胆に発言すれば、21世紀前半の人間生活の命題であり、「**理念経営=人本位経営**」は企業や地域社会活動のキーワードであると位置付けています。

◆現在は、世相も人々の生活への価値体系も大きく変革しているのは、多くの方々が感じているところだと思います。国家の在り方も、企業経営も私達の生活も、そして一人一人にとって「**大切なもの**」を抱きしめる時代となっているのです。

「**かけがえのないもの・生きがい**」の実現をめざすことが求められ、食うために生きる時代から「**生きるために食う**」、そんな時代に入ってきているのです。この時代感覚を感じられる人とそうでない人とでは、企業経営においても行政の施策においても、時代精神の一部となって後世の人々に役立つか否か、の分れ道となることでしょう。

理念経営を普及することが、吾ら同朋の存在理念でありミッションと自覚して取り組んでおります。「**人生に五計あり**」は、行動理念を中心に書きましたが、

◆お知らせ

HosBizSOMAC クラウド型中小企業育成経営支援メソッド ネットワーク構想
の発表会（プレゼン）を開催いたします。

- ・ 対象者：中小企業経営者、メンター、育成経営支援家、ネットワークシステム
提供者（HosBiz 会員限定）
- ・ 日時：2014年7月23日（水） 15：30～19：00 その後、名刺交換会、
懇親会あり。
- ・ 会場：北区 北とぴあ JR王子駅～徒歩2分、東京メトロ南北線 王子駅直結

=====

◆編集後記

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

「はやぶさ」の第85号を発行しました。

本号の編集後記は、編集責任者の石川が執筆しました。

=====

- ・ 6月9日（月）に江東区にある物流会社（倉庫と運輸）で品質 ISO（ISO9001）と
プライバシーマーク（JIS Q 15001）の認証取得、キックオフ大会が開催されました。
社長は生き残りをかけた会社の体質改善を目指しています。

編集責任者の石川が品質 ISO を担当します。手始めに、日常業務の整理と見える化
を行っています。2週間に一度程度の割合で、進捗状況をご報告したいと存じます。

- ・ 6/11（水）には熊坂講師による「ものづくりプロセス革新のススメ」と
題したセミナーを開催しました。
新製品開発プロセスと開発後のマーケティングに関する手法について、概説して
いただきました。その後、活発な質疑応答がありました。
アインシュタインの言葉：「同じ事を繰り返し行い、違う結果を期待することは
正気の沙汰ではない」を聞いて、「変化し続けることが、生き残りの重要ポイント」
だと思いました。

終了後は講師を囲んでのワイガヤタイム：みなさん議論の花を咲かせていました。

読者の皆様から、ご要望や率直なご意見をいただきますと、発信する勇気と力が湧いてきますので、皆様からのメールを心待ちしております。よろしくお願ひします。

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

=====
一般社団法人 経営特訓士協会（略称：K T G A）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@hosbiz.net

=====